

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

問題 近くのAEDの設置場所をご存じですか？

AED：自動体外式除細動器 (Automated External Defibrillatorの略)
突然倒れてしまった人に対して、社会復帰の可能性を増やすことができる医療機器。



救命措置は、時間との闘いです。胸骨圧迫(※1)に加え、同時にAEDを使用できるよう、事業所内や周辺のAEDの位置を把握しておきましょう。事業所建物内の他、[日本救急医療財団全国AEDマップ](#)で近隣の設置場所を確認できます。事業所に設置されていない場合でも、近隣の設置場所から、借りることもできます。

※1 胸骨圧迫…動かない心臓に代わって全身の臓器に血液を送り込み、臓器が酸素不足で働かなくなるのを防ぐ救命方法

防 応急手当の大切さ

救急車が到着するまでの平均時間は10.3分。
その場に居合わせた人が胸骨圧迫を行うことで、
助かる可能性が2倍になります。(右グラフより)

AEDの使用

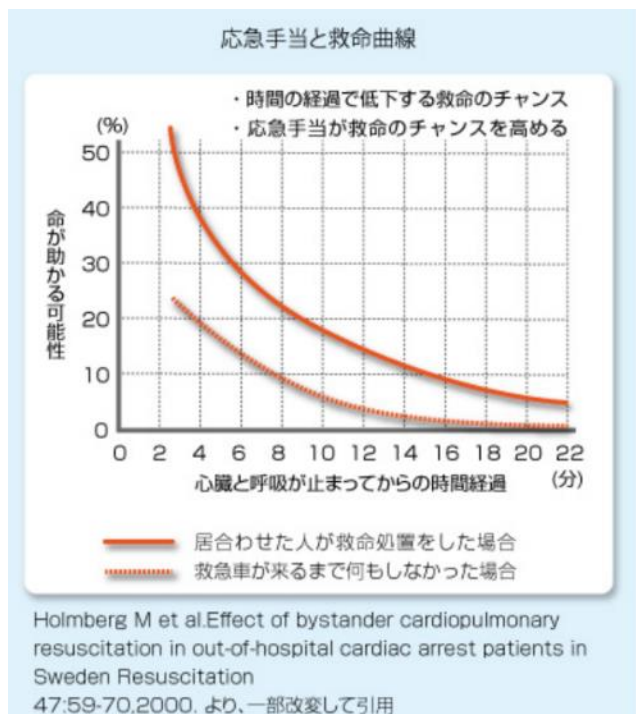
出典：総務省消防庁『令和5年版 救急救助の現状』

心肺機能停止後、胸骨圧迫に加え、AEDを使用することで、1カ月後の生存率が約5.9倍、上がります。

AEDを使用した場合 50.3%

AEDを使用しなかった場合 8.5%

心肺機能停止は、心臓の病気を指摘されたことがない人でも突然、発症します。AEDがあれば、命を救える可能性が高まります。大切なお客様や従業員の命を守るため、AEDの設置を検討するのもひとつでしょう。



防 応急手当のフロー

人が倒れているのを発見した場合、速やかに対応できるよう確認しておきましょう。

出典：政府広報オンライン

近くに人がいる場合は役割分担できますが、自分しかいない場合、
まずは救急車を呼び、指示に従いましょう。

①反応の確認



反応がない場合、
声を出して助けを呼ぶ



②救急車を呼び、
指示に従う

呼吸の確認

- ・仰向けに寝かせた状態で
胸やおなかの上下がない場合
- ・普段通りの呼吸ではない場合
- ・判断に迷う場合



③すぐに胸骨圧迫を
開始し、やめない

近くに人がいる場合、



AEDを
持ってきてもらい、
すぐに使用(※2)

胸骨圧迫やAEDの具体的な使用方法などは、消防署で訓練に参加できるほか、オンライン([総務省消防庁『応急手当WEB講習』](#))でも気軽に受講できます。
従業員へ周知し、積極的に訓練しましょう。

※2 AEDは使い方を知らなくても、電源を入れると自動的に音声案内がはじまるので、誰でも使えます。

総務省消防庁『応急手当WEB講習』 →



応急手当の訓練
を行いましょ

